

2025
秋号

History

「桜梅桃李」という言葉が好き!

それぞれ可憐に咲き使命を果たしながら人々の心を和ませてくれる花・花・花。

一人ひとりが今、居る場所で自分らしく生き、自分らしく「きらきら」と輝いていける21世紀でありたい…。

Contents

- 伊賀市議会女性議員
ネットワーク会議のご紹介
- 「いきいき未来いが2025」実績報告
- TOPICS:ジェンダー・イノベーション
- あ・な・た・は…何をしている時が楽しいですか?

まらきら

今、ひとりひとりが…

第78号

毎年11月12日から25日は

「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。

「女性に対する暴力をなくす運動」は、内閣府男女共同参画推進本部が主唱する運動で、女性への暴力が、人権の侵害であるという認識を広め、根絶を目指すことを目的とし、全国で取り組まれています。

残念ながら、身近な問題でもあります。昨年の「伊賀市男女共同参画に関する意識調査」によると、伊賀市内の女性の約7人に1人がDV被害を経験しているという事実が明らかになりました。このような現実を変えるため、社会全体で意識を高め、女性に対する暴力を断固として許さない姿勢を示すことが重要です。

みんなで連携し、暴力をなくし、誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指しましょう!

パープルライトアップ2025

11月12日(水) 17:00~20:00

ハイトピア伊賀・伊賀上野城・上野(忍者)市駅



女性に対する暴力根絶のシンボルである「パープルリボン」にちなんで行われ、暴力根絶のメッセージを広く発信するとともに、被害者に対して「**ひとりで悩まず、まずは相談をしてください。**」というメッセージを伝えることを目的とし、紫色にライトアップします。

作ろう! 知ろう! パープルリボン

11月12日(水) ~ 11月25日(火)

ハイトピア伊賀 1階ロビー

パープルリボンの紹介や、各種相談窓口の案内ブースを設置します。また、この運動に賛同される皆さんと大きなパープルリボンを作りたいと思いますので、是非お立ち寄りください。



(昨年の様子)

ひとりでなやんでいませんか? まずはご相談ください。(祝日・年末年始を除く)

伊賀市
こどもの育ち支援課

☎0595-22-9609

受付: 月~金
8:30~17:15



三重県女性相談所
(三重県
配偶者暴力相談支援センター)

☎059-231-5600

受付:
月火木金 9:00~17:00
水 9:00~20:00



三重性暴力被害者支援センター
『よりこ』

☎059-253-4115

受付: 月~金
9:00~17:00



三重県男女共同参画センター
『フレンテみえ』

☎059-233-1133

受付:
火~日 9:00~12:00
火金土日 13:00~15:30
木 17:00~19:00



発行(令和7年11月1日発行)

伊賀市 人権生活環境部 人権政策課
〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内500番地
TEL:0595-22-9632 FAX:0595-22-9666

✉jinken-danjo@city.iga.lg.jp

編集

伊賀市男女共同参画センター情報誌「きらきら」
編集スタッフ

岡 久美子・竹山 佐代子・的場 裕子・矢野 美幸
(担当) 永井口 英哲・正井 尚美



伊賀市議会女性議員ネットワーク会議のご紹介

女性議員36%、県内でも上位の比率

伊賀市議会には現在、定員22人中8人が女性議員として活動しており、割合は36%にのぼります。これは県内でも上位の比率で、全国平均(約20%)を大きく上回るものです。

伊賀市の大きな特徴といえます。



< 8 名になった伊賀市の女性議員 >

暮らしに根ざした政策提言

これまでも女性議員は、子育てや介護といった家庭や地域のお困りごとに寄り添いながら政策提言を重ねてきました。例えば、育休退園の廃止など働きながら子育てできる制度の拡充や、高齢者が安心して暮らせる仕組みづくりなど、市民生活に直結する課題に取り組んできました。

ネットワークを結成し、条例づくりへ

< 女性議員ネットワークで条例づくりの検討中 >



今年、女性議員が8人となったことを契機に、会派を超えて「伊賀市議会女性議員ネットワーク会議」を結成しました。お互いの経験や視点を活かし、政策実現の力を高めることを目的としています。現在は最初の取り組みとして、「ハラスメント防止条例」の制定に向けた議論を進めています。単なる規制にとどまらず、尊重し合える文化を根づかせることを目指しています。



< 名張市の女性議員と懇談会 >

名張市との交流から広がるつながり

また、私たちはお隣・名張市の女性議員の皆さんとも交流し、名張市で先行している取り組みを学びながら、伊賀市での活動にも活かしていきます。

こうした地域を越えたつながりは、女性議員同士の励ましとなり、活動を広げる力になっています。

～・市民の声をカタチに・～

私たちは、この条例づくりを皮切りに、暮らしに寄り添う政策提案を発信し続けます。「こんなことで困っている」「こうなったらいいのに」—ぜひ皆さまの声をお聞かせください。

小さな声も積み重ねれば、市政をより良く変えていく大きな力になります。

7月5日(土)に伊賀市文化会館で「いきいき未来いが2025」を開催しましたので、その様子を紹介します。

いきいき交流広場



伊賀市男女共同参画ネットワーク会議の会員や、障がい者就労支援施設のみなさん、地元高校生による展示や物販でにぎわいました。



オープニング

上野高校ギター・マンドリン部の皆さんに、映画「パイレーツ・オブ・カリビアン」の主題歌「彼こそが海賊」等の演奏で、オープニングを盛り上げていただきました。

講演会

木村まさ子さんをお迎えして「今、ここを生きる」の演題で、ポジティブな言葉や感謝の気持ちを持つことや、自分自身を大切にすることを心地よい語り口でお話いただきました。参加者からは「自己肯定感が高まって前向きになれる」といった感想をたくさんいただきました。



TOPICS part 55

ジェンダード・イノベーション

①性差を力に変え、誰も取り残さない社会へ

「ジェンダード・イノベーション」とは、科学技術や製品開発、政策づくりといったあらゆる場面に、生物学的性(セックス)と、社会的性(ジェンダー)、各々を分析し、その視点を積極的に取り入れることで、新しい価値や発見を生み出す考え方です。

なぜこれが重要なのでしょうか？それは、これまでの研究や開発が、男性中心のデータや視点で行われてきたため、女性やその他の人々に不利益が生じてきたからです。ジェンダード・イノベーションの根底にあるのは、性別にとらわれない「ジェンダー平等」なのです。

②具体例

車の衝突実験では男性型のダミー人形が使われてきたため、設計されたシートベルトは、体の小さい女性が事故にあった際の重傷率を高める結果となりました。また、医薬品の臨床試験で女性のデータが不足していたため、特定の薬で女性に強い副作用が出るケースもありました。これらは命に関わる不平等といえます。

③ジェンダード・イノベーション

ジェンダード・イノベーションは、こうした「見落とし」を解消するため、女性の身体を考慮した衝突実験用ダミーの開発や、男女それぞれの健康ニーズに着目したフェムテック・メンテックなどの成果につながっています。

この取り組みは、特定の性別のためだけではありません。女性の視点も取り入れたまちづくりは、ベビーカーを押す人や高齢者など、多様な人々にとって便利な環境づくりにつながります。

性差を分析し、イノベーションの源にすることは、安全性、利便性、市場の可能性を高め、「誰一人取り残さない」社会の実現に貢献する、新しいイノベーションのカタチとして期待されています。



あ・な・た・は・・・・

何をしている時が楽しいですか?



多くの皆さんに立ち寄って
いただき、ご協力ありが
とうございました。

大切な人と過ごす

趣味に没頭する

友達とのおしゃべり

(新しいことにチャレンジ)

ライブで踊っている時 ♪

夕食のアイスワイン最高!

ボランティア活動

ラッコの動画を見ている時

など社会貢献

「楽しい」と感じる時間は人それぞれですね!

『今、ここを生きる』木村まさ子さんの講演から

元気に、強気に、陽気に生きる

楽しい時間が毎日の輝く時間に・・・

家事、育児・介護、仕事…様々な生活の中でもほんの少し

自分自身が楽しめる時間をもってみませんか・・・

“強気に生きる” 自分の心のままに行動してもいいんだ
もっと自分をほめてあげよ～と感じました。

